

スマイルバス利用状況の評価と今後の検討方針

1. 月別・路線別のスマイルバス利用状況（平成 22 年度）

- ・平成 22 年度、スマイルバスは月間約 2,000～2,300 人の人が利用している（ただし、小学生・中学生の登下校の利用は除く）。
- ・1日当たりの利用者数は、約 80～90 人である。
- ・路線別には、Bコース（国栖方面）、Aコース（中竜門方面）の利用が多い。1日当たり利用者数はBコースが約 32 人、Aコースが約 25 人となっている。

表 - 1 スマイルバスの月別・路線別乗車人数と1日平均乗車人数

(単位:人)

		平成22年度					
		4月	5月	6月	7月	8月	合計
月間乗車人数	Aコース	645	605	664	614	603	3,131
	Bコース	880	780	852	829	746	4,087
	Cコース	152	123	201	196	139	811
	Dコース	53	222	223	202	214	914
	上市龍門	166	126	149	168	171	780
	中竜門	185	197	206	224	186	998
	合計	2,081	2,053	2,295	2,233	2,059	10,721
運行日数		25	23	26	26	26	126
1日平均乗車人数	Aコース	25.8	26.3	25.5	23.6	23.2	24.8
	Bコース	35.2	33.9	32.8	31.9	28.7	32.4
	Cコース	6.1	5.3	7.7	7.5	5.3	6.4
	Dコース	2.1	9.7	8.6	7.8	8.2	7.3
	上市龍門	6.6	5.5	5.7	6.5	6.6	6.2
	中竜門	7.4	8.6	7.9	8.6	7.2	7.9
	合計	83.2	89.3	88.3	85.9	79.2	85.1

注：各コースの往路・復路の乗車人数の合計。小学生・中学生の通学利用を除く。

Dコース・吉野山観桜期は、一部の便を除いて運休（そのため4月の利用が少ない）。

Aコース：吉野病院～立野口～吉北小～香束～三茶屋

Bコース：吉野病院～立野口～宮滝～南国栖～下色生～三茶屋

Cコース：吉野病院～奥六田～上左曾～吉野病院～藤田～喜佐谷～櫻尾

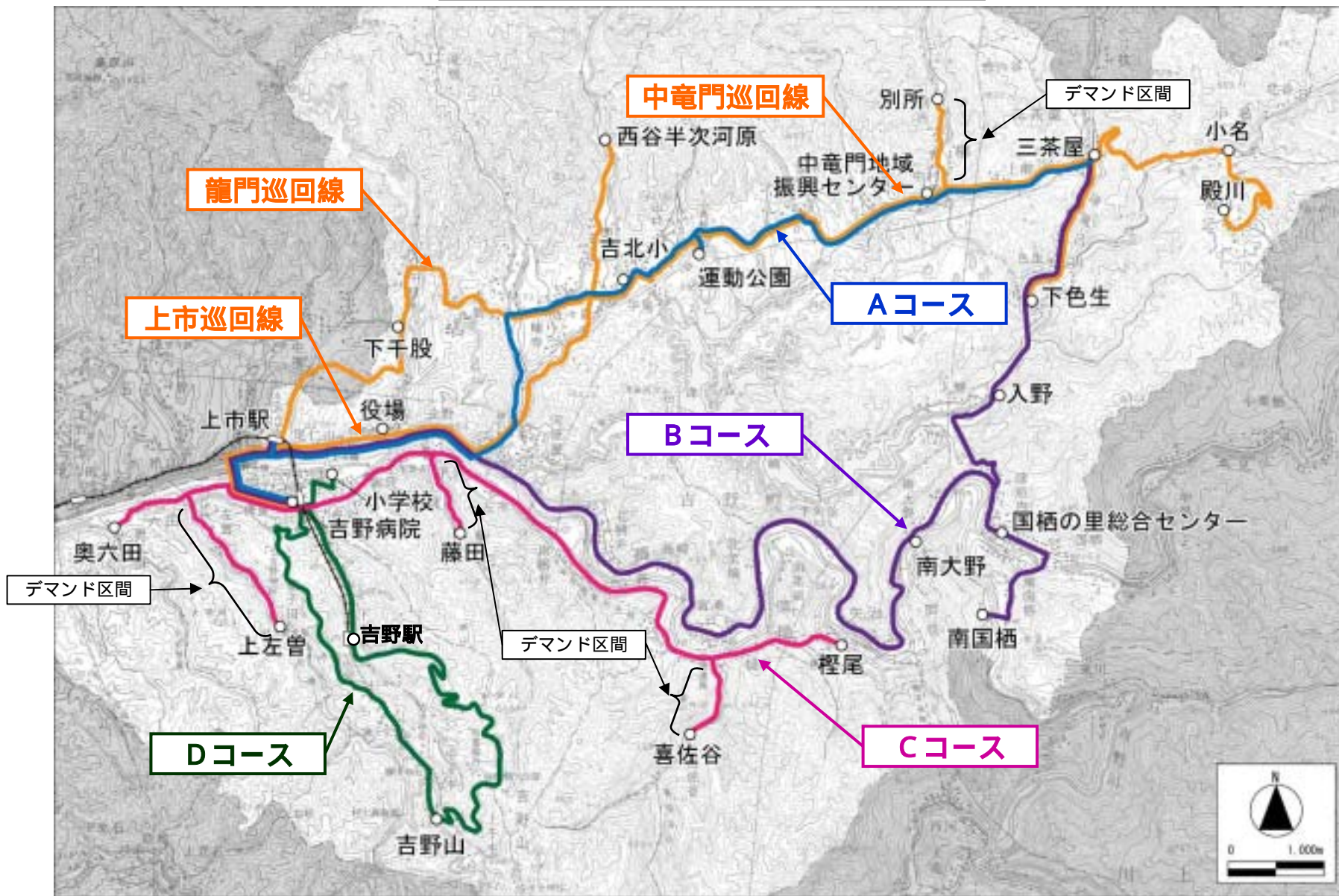
Dコース：吉野病院～吉野山～上千本口

上市龍門：[上市巡回線] 吉野病院～上市駅～（中道経由）～中道立野口

[龍門巡回線] 中道立野口～吉北小～西谷半次河原～下千股～上市駅～吉野病院

中竜門：[中竜門巡回線] 吉北小～別所～三茶屋～殿川

スマイルバス路線図 (平成 22 年 3 月 ~)



2. 平日・土曜日別の利用者数

- ・平日と土曜日の利用状況を比較すると、平日は1日当たり約95人が利用しているが、土曜日は1日当たり約37人の利用にとどまっている（平成22年4～8月の合計）。

表 - 2 平日・土曜日別の利用者数と1日平均利用者数（平成22年4～8月）

（単位：人）

		平日		土曜		平日・土曜計	
		乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
月間利用者数	Aコース	2,887	3,568	244	290	3,131	3,858
	Bコース	3,810	3,609	277	275	4,087	3,884
	Cコース	776	778	35	35	811	813
	Dコース	845	842	69	69	914	911
	上市龍門	748	747	32	32	780	779
	中竜門	829	320	169	116	998	436
	合計	9,895	9,864	826	817	10,721	10,681
運行日数		104	104	22	22	126	126
1日平均利用者数	Aコース	27.8	34.3	11.1	13.2	24.8	30.6
	Bコース	36.6	34.7	12.6	12.5	32.4	30.8
	Cコース	7.5	7.5	1.6	1.6	6.4	6.5
	Dコース	8.1	8.1	3.1	3.1	7.3	7.2
	上市龍門	7.2	7.2	1.5	1.5	6.2	6.2
	中竜門	8.0	3.1	7.7	5.3	7.9	3.5
	合計	95.1	94.8	37.5	37.1	85.1	84.8

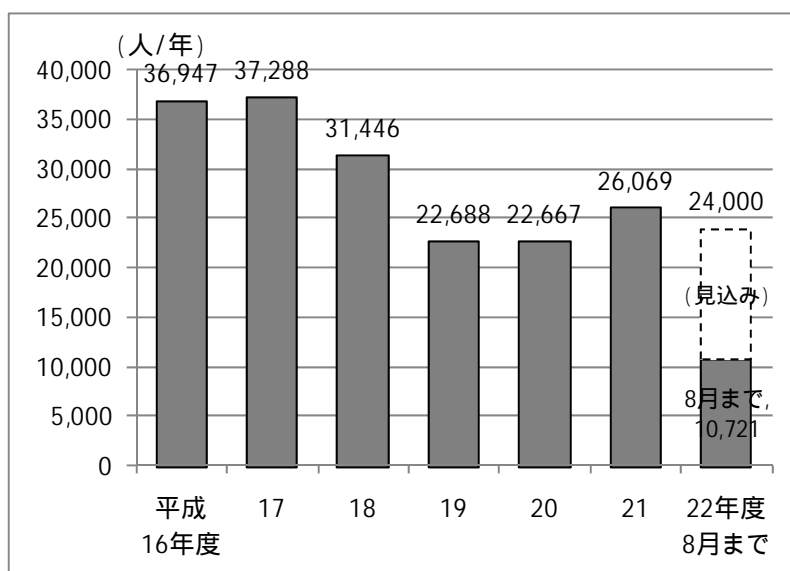
各コースの往路・復路の乗車人数および降車人数の合計。小学生・中学生の通学利用を除く。

3. 利用者数の推移

(1) 年間利用者数の推移

- ・福祉バス・コミュニティバスの利用者は年々減少してきたが、昨年の路線再編・増便により、増加に転じた。（平成20年度 21年度・・・15%増）
- ・今年度は24,000人程度の利用が見込まれる。（対20年度比6%増、21年度比8%減）

図-1 福祉バス・コミュニティバス・スマイルバスの年間乗車人数の推移

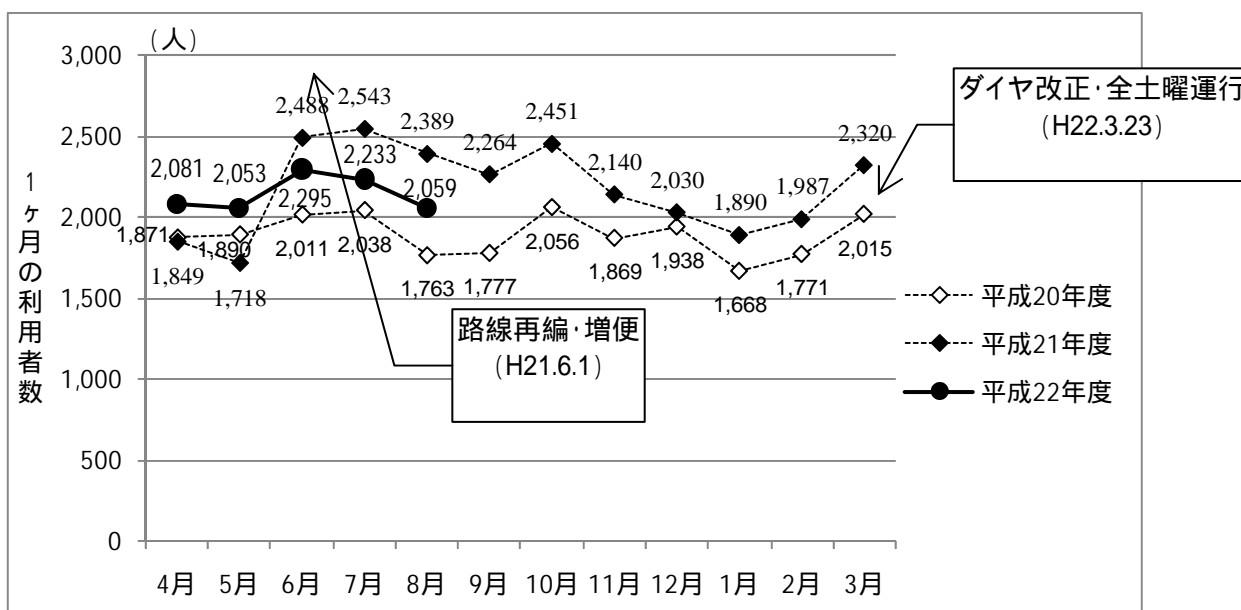


注: 見込み = (H22.4~8 利用実績) + (昨年度 H21.9~H22.3 利用者数) × (H22.6~8 ÷ H21.6~8 の減少率)

(2) 月間利用者数の推移

- ・月間の利用者は、昨年6月の路線再編・増便により増加した。
- ・今年度の利用者は、昨年度には及ばないが、平成20年度を上回る人数で推移している。

図-2 スマイルバスの月間乗車人数の推移



4. 便ごとにみた利用状況

(1) 利用の多い便

- ・表 - 3 は、平日・土曜日の全ての便を対象として、平成 22 年 4 ~ 8 月の間の 1 便当たりの平均利用者数が多い順に並べたものである。
- ・最も利用の多いのは、平日の朝 8 時台・9 時台に吉野病院に到着する、中竜門方面や国栖方面からの便である。
- ・次に利用の多いのは、午前 10 時 ~ 12 時台に吉野病院を出発して中竜門方面や国栖方面に向かう便である。診療を済ませた方の通院からの帰宅利用が多いと推察される。
- ・その次には、土曜日朝の中竜門方面から吉野病院に向かう便の利用が多い。なお、この便は上市駅での降車が多く（同便・4 ~ 8 月計 22 便の降車人数：上市駅 50 人、吉野病院 18 人）、休日の外出に利用されていると推察される。

表 - 3 利用者の多い便（平日・土曜日）

運行日	コース	始発		経由	終着	平成22年4月～8月				
						乗車人数 (人)	便数 (便)	1便平均 (人/便)		
平日	A	小名	7:22	吉北小	8:10	吉野病院	1,057	104	10.2	平日朝の中竜門・ 国栖 吉野病院行
平日	吉中スクール	南国栖	7:30	吉中乗換	8:10					
平日	B	三茶屋	8:50	南国栖	9:42	吉野病院	933	104	9.0	
平日	中竜門 A	殿川	8:45	別所・中道	9:41	吉野病院	789	104	7.6	
平日	B	吉野病院	10:20	中道・南国栖	11:15	三茶屋	549	104	5.3	
平日	B	吉野病院	12:50	南国栖	13:43	三茶屋	541	104	5.2	平日午前～昼過 ぎの病院帰宅便
平日	A	吉野病院	11:20	吉北小	11:55	三茶屋	504	104	4.8	
土曜	中竜門 A	殿川	8:40	別所・中道	9:37	吉野病院	101	22	4.6	土曜朝の病院行
平日	B	吉野病院	15:30	南国栖	16:23	三茶屋	455	104	4.4	平日早朝の国栖 上市駅行
平日	B	三茶屋	10:50	南国栖	11:42	吉野病院	415	104	4.0	
平日	D	上千本口	8:35	下千本	8:52	吉野病院	308	83	3.7	
平日	A	吉野病院	13:30	吉北小	14:05	三茶屋	370	104	3.6	平日朝の吉野山・龍 門・檜尾 吉野病院行
平日	B	南国栖	6:28		7:00	上市駅	348	104	3.3	
平日	龍門 C	吉北小	7:47	千股・奥六田	8:23	吉野病院	319	104	3.1	
平日	C	檜尾	8:43	喜佐谷・藤田	9:10	吉野病院	300	104	2.9	

注：平日・土曜日の全ての便について、1 便平均乗車人数の多い順に表示。太枠内は土曜日。

(2) 利用の少ない便

- ・一方、利用の少ない便は表 - 4 のとおりである。
- ・要望に基づき平成 22 年 3 月 23 日の改正より運行を始めた吉野駅 県営住宅前 吉野病院の便（Dコース区間運転）は、4～8月の5ヶ月間、平日・土曜日ともに利用が皆無であった。
- ・また、Cコース（奥六田・左曽・中荘方面）やDコース（吉野山方面）、龍門巡回線（千股・西谷方面）の中には、4～8月の土曜の運行日 22 日間で1～5名の利用しかなかった便が何便か見られる。
- ・平日では、午後の時間帯に吉野病院方面に向かう便の利用が少ない。（なお、これは吉野病院から各地域に買い物・通院帰りの利用者を送り届けた後、吉野病院方面に戻ってくる便であり、利用が少ないのはやむを得ないと考えられる）。

表 - 4 利用者の著しく少ない便（平日・土曜日）

運行日	コース	始発		経由	終着	平成22年4月～8月			
						乗車人数 (人)	便数 (便)	1便平均 (人/便)	
平日	D	吉野駅	全便	県営住宅	全便	吉野病院	0	104	0.00
平日	D	吉野病院	全便	県営住宅	全便	吉野駅	0	104	0.00
土曜	D	吉野駅	全便	県営住宅	全便	吉野病院	0	22	0.00
土曜	D	吉野病院	全便	県営住宅	全便	吉野駅	0	22	0.00
土曜	C	吉野病院	10:43		10:59	樫尾	0	22	0.00
土曜	C	吉野病院	13:00	奥六田・左曽	13:18	吉野病院	1	22	0.05
土曜	C	吉野病院	16:00	奥六田・左曽	16:18	吉野病院	1	22	0.05
土曜	龍門 上市	吉野病院	17:25	千股・西谷・中道	18:01	吉野病院	2	22	0.09
土曜	D	上千本口	11:10	下千本	11:27	吉野病院	2	22	0.09
土曜	D	上千本口	7:25	吉野神宮駅	7:50	吉野中学校	2	22	0.09
土曜	C	樫尾	11:00	喜佐谷・藤田	11:27	吉野病院	3	22	0.14
平日	中竜門 A	殿川	15:27	三茶屋	15:54	吉北小	16	104	0.15
土曜	D	吉野病院	15:00	下千本	15:17	上千本口	4	22	0.18
土曜	上市 龍門	吉野病院	11:30	中道・西谷・千股	12:05	吉野病院	4	22	0.18
土曜	D	上千本口	15:30	下千本	15:47	吉野病院	5	22	0.23
平日	上市	中道立野口	12:32	中道役場前	12:43	吉野病院	24	104	0.23
平日	C	樫尾	15:00		15:16	吉野病院	30	104	0.29

吉野駅 吉野病院
の全便利用者ゼロ

土曜日のC・Dコ
ース・龍門巡回線

平日午後の吉野病
院行・上り便

注：平日・土曜日のすべての便について、1便当たり乗車人数が0.3人未満の便を表示。

(3) 高校生通学便の状況

- ・平成 21 年 6 月より、高校生の通学利用や通勤利用の利便性向上を目的として、
 - <往路> 中竜門方面・国栖方面から上市駅に 7:00 に到着する便
 - <復路> 上市駅を 18:24 に発車し中竜門方面・国栖方面に向かう便
 の運行を開始した。
- ・平成 22 年度の利用状況は表 - 5 のとおりである。南国栖 上市駅の便は 1 日平均 3.35 人の利用、その他の便は 1 日平均の利用者が 1 人に満たない。
- ・このように、当初の意図通りには利用されていないのが現状である。

表 - 5 高校生通学便の利用状況

区分	コース	始発		経由	終着		平成22年4月～8月		
							乗車人数 (人)	便数 (便)	1便平均 (人/便)
往路	Aコース	入野	6:28	三茶屋・中竜門	7:00	上市駅	87	104	0.84
	Bコース	南国栖	6:28	宮滝	7:00	上市駅	348	104	3.35
復路	Aコース	上市駅	18:24	中竜門・色生	19:02	小名	82	104	0.79
	Bコース	上市駅	18:24	南国栖	19:01	入野	63	104	0.61

(4) デマンド運行の状況

- ・平成 22 年 3 月 23 日より、Cコース(下左曽～上左曽、藤田、喜佐谷)、中竜門巡回線(宮前橋～別所)間のバス停を利用する際はデマンド方式(事前予約制)とし、予約が無い場合は当該区間を運行しないこととした。
- ・デマンドの利用状況は表 - 6 のとおりであり、予約が無い(利用が無い)便は谷筋に入らないことにより、運行の効率化が図られたと考えられる。

表 - 6 デマンドの利用状況

月	平日		土曜		バス停別のデマンド利用者数
	デマンド利用者数	運行日数	デマンド利用者数	運行日数	
4月	8	21	1	4	喜佐谷6、藤田、上左曽、中左曽
5月	7	18	1	5	喜佐谷6、藤田、中左曽
6月	12	22	0	4	喜佐谷9、中左曽3
7月	12	21	1	5	喜佐谷6、別所4、中左曽2、藤田
8月	7	22	0	4	喜佐谷5、中左曽2
合計	46	104	3	22	喜佐谷32、中左曽9、別所4、藤田3、上左曽1

5. 今後の検討方針

上記に示した利用状況を踏まえ、今後、次の点について検討を進める予定である。

(1) デマンド方式の拡充による運行の効率化

- ・現状では、利用の少ない一部の区間においてデマンド方式を実施している。
- ・利用実績を踏まえ、利用者の著しく少ない便や路線を対象に、特定の便の全区間、あるいは特定の路線の全便を対象としてデマンド方式を導入することを検討する。
- ・また、利用者が最大でも4人を越えることが少ない路線（Cコース、上市巡回線、龍門巡回線の一部の便）については、セダン型のタクシー車両による運行（一般のタクシー車両の間合い運用）の可能性を検討する。
- ・これらにより、利用者の乗車機会を損なうことなく、運行費用の削減と運営の効率化を図ることを目指す。

(2) 利用実績等に基づくダイヤの見直し

- ・利用実績や役場・病院のご意見箱等に寄せられた意見、上記の分析結果などを踏まえ、スマイルバスのダイヤや運行方式について見直しを行う。
- ・また、運行の安全性や定時性を損なわない範囲で走行時間の見直し（短縮化）を行い、速達性の向上と利便性の向上を図ることを、運行事業者と協議しながら検討する。

(3) スマイルバスの利用促進

- ・利用者が減少傾向にあるため、その原因を究明するとともに、利用促進策について検討する。
- ・その一環として、高校生の通学便（上市駅 7:00 着および上市駅 18:24 発）の利用促進を具体的に検討する。
- ・現段階では、次のような取り組みを検討している。

高校生に対するヒアリング調査の実施

- ・上市駅にて通学帰途の高校生やマイカー送迎の保護者を対象にヒアリング調査を行い、通学の時間帯の把握、スマイルバスの認知、スマイルバス利用意向や利用しない理由などを把握する。

高校生に対するスマイルバスのPR

- ・上市駅にて高校生にスマイルバスの無料チケット（お試し券）を配布し、スマイルバスをPRする。

なお、具体的な検討内容としては表 - 7 に示す事項が考えられる。今後、内容を精査して平成 23 年 3 月を目途に見直しを図りたい。

表 - 7 具体的な運行計画等の見直し（案）

項 目	内 容
デマンド方式の拡充	<ul style="list-style-type: none"> < 検討対象コース・区間 > ・ Cコース（吉野病院 奥六田 吉野病院） ・ Cコース（吉野病院 檜尾） ・ 龍門巡回線・上市巡回線（吉野病院 下千股 中道立野口 吉野病院） < 検討内容 > ・ 便毎の利用状況の精査 ・ セダン型タクシー（4人乗り）によるデマンド運行の可能性の検討
ダイヤの見直し	<ul style="list-style-type: none"> 系統廃止の検討 ・ Dコース・吉野駅 吉野病院（1日2往復）…利用者0のため土曜日ダイヤの見直し ・ 病院の診療がない第2・4土曜日の運行の要否の検討 区間別所要時間の全面的な見直し ・ 区間別の所要時間の見直し 余裕時分の精査 所要時間短縮の可能性の検討（運行事業者との協議を含む） 高校生通学便のダイヤ設定の見直し ・ 夕方の帰宅便（現状：上市駅発 18:24）の時刻設定の見直し 奈良交通・八木大滝線の減便への対応 ・ 国栖経由の便が減便となることに対するBコースダイヤの見直し
利用促進策の検討	<ul style="list-style-type: none"> 通学利用の開拓 ・ 通学時間に合ったダイヤの設定（上欄 と同じ） ・ 所要時間の見直し 速達性の向上 利便性の向上（上欄 と同じ） ・ 通学時間帯におけるチラシ配布等、利用の呼び掛け、啓発活動の実施 一般利用者の利用増進 （今後、具体策を検討）